

料金後納

ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要とされる地元でのお役立ち企業を目指しております。東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

## 建設業 2024 年問題 導入が進む『CCUS』

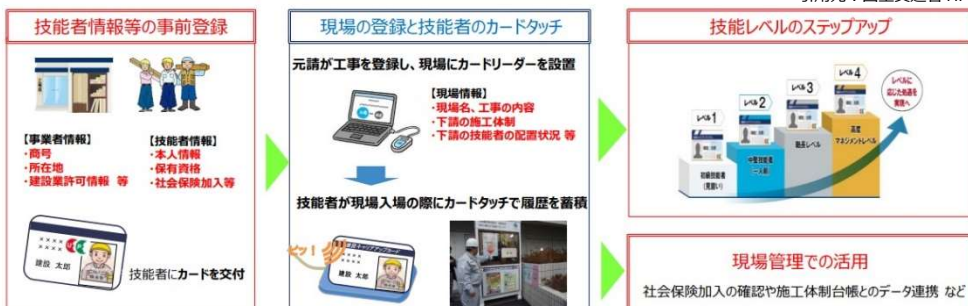
建設業の2024年問題の一つといわれる、来年4月適用の働き方関連法『時間外労働の罰則付き上限規制』に対応するため、労働者の生産性向上や賃上げなどへの環境整備改革が急ピッチで進められています。国の肝いりで進められている建設キャリアアップシステム（CCUS）です。

引用元：（一財）建設業振興基金 HP

＜建設キャリアアップシステムの概要＞

※システム運営：（一財）建設業振興基金

引用元：国土交通省 HP



## 建設キャリアアップシステム

Construction Career Up System

CCUSとは

- 技能者の保有資格・社会保険加入状況や現場の就業履歴などを業界横断的に登録・蓄積して活用する仕組み

CCUSの目的

- 技能者の能力・経験等に応じた適正な処遇改善につなげる
  - 技能者を雇用し育成する企業が伸びている業界環境をつくる
- 若い世代が安心して働き続けられる建設業界を目指す

国土交通省が建設キャリアアップシステムのレベル別年収を専門職種 32 分野で試算したところ、高度マネジメントクラスのレベル4で800万円超となったのが、**建築大工・とび・土工・鉄筋・型枠・左官**など多種に亘りました。新入社員がレベル4に到達するには、最短でも10年近くかかりますが、建設技能労働者の明確な基準レベルが認知されることによって、これから仕事を選ぶ若者に対しても、将来の処遇やキャリアパスを示すことができ、最優先の課題である担い手確保につながるのではとされています。職長クラスのレベル3で600万ぐらいとなれば公務員の平均年収と比較しても遜色ないはず。一幸建設協力会に於いてもCCUS事業者登録を推奨し、専門工種の労働者の生活保障といった信頼関係の構築を出発点として、建設業2024年問題の課題に取り組んでいます。

## 一幸建設事業再構築への道① 社内事業説明会 6月12日

4月号にて掲載しました、第8回事業再構築補助金採択事業『ZEB化リフォームに依る既存建築物の有効活用事業』の社内事業説明会を開催しました。

本事業の肝となる本社ビルZEB化ショールーム改修工事着手に向けて、今回は、弊社自体が改修事例のモデルケースとなります。実際に事業所で働く弊社従業員の声を改修計画に取り入れ、**快適性・動き易さ**など、経営者（事業主）の目線だけでなく、**社員の満足度の向上に寄与**することが、しいては生産性の向上に繋がり持続可能経営や企業の発展に繋がるはず。これは弊社幹部の意見ですが、**まずは社員が「やってよかった」と本音で思えること**が皆様への何よりの訴求に繋がります。それを念頭おいて進めて参りたいと思います。



### ★社内事業説明会

- ①事業再構築プロジェクトの意義
- ②新規事業の概要
- ③本社改修内容について
- ④事業スケジュール
- ⑤質疑応答

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが0532-46-9336まで

## 中華料理店 改装

中華料理店「新珠」さんの改装が終わり、お引き渡しを行ないました。店舗併用住宅の店舗部分と住居部分のどちらも改装したので、2月から4か月間休業となっていました。

5/25 からリニューアルオープンとなりました。新珠さんは1974年創業、ラーメンやチャーハン、餃子など家庭的な中華料理が楽しめ、地域の皆様に愛されたお店です。



店舗部分は現在の客層にあった内装にし、住居部分は二世帯住宅へ生まれ変わりました。

改装の施工事例として

WEBにアップする予定ですので、お楽しみに！



営業・設計 山崎

## 地域の魅力を発信

6月の中旬頃、豊田スタジアムで行われたサッカー日本代表戦を観戦してきました。私自身、子供の頃からサッカーが好きなのですが、現地観戦は15年ぶりでした。試合の結果は、6対0で日本代表の勝ち。ゴールもたくさん見ることができ、とても良い思い出となりました。当日の観戦者数は、37000人程集まったとのこと。会場には飲食店の出店なども多くあり、お祭りのような雰囲気でした。豊田の方だけでなく県内外から多くの方が現地に足を運んでいるのだなと伺えます。



また、別日には隣町の三ヶ日まで子供と一緒にハチミツを買いに出かけたのですが、そちらも朝早くから多くの方が集まっていました。街中ではないのですが、美味しい商品があったり評判が良かったりで遠くからでも人が集まるのだなと思いました。

不動産業や建設業に携わっているので、店舗や施設がどれだけの経済効果を生み出しているのか気になるところです。工夫した仕掛けや情報発信をすることで、例え小さな店舗でも多くの方が足を運んでもらえるのだと思います。

特に豊田スタジアムでのサッカー観戦では、久しぶりにたくさんの方が動いている様子を見て圧倒されました。もちろんサッカー自体も楽しめて、あっという間の時間でした。

地元豊橋や自社でも、施設や仕掛けなど、観光で魅力を発信できるように考えていければと思います。

建築不動産営業 筒井